

事業所名		HARVEST		公表日		令和8年2月20日	
		チェック項目		工夫している点		課題や改善すべき点	
		はい	いいえ				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	集団活動、個別活動で使用スペースを調整し、工夫しながら空間を使っています。	個々の特性や状況を踏まえて訓練室を分けるなど、職員同士連携をとりながら空間を使っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	事業所間での移動体制や、代行連絡調整ツールを用いてサポートできる体制を整えています。	事業所間での移動体制や、代行連絡ツールを使用し安全に療育が受けられるように努めてまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	玄関や廊下、トイレ等にイラストを用いた視覚提示をしています。玩具が収納されているボックスには名称記載があり、ラックへと片付けやすい工夫がされています。	引き続き理解しやすい構造化された環境設定をしています。児童特性に合わせて、机上作業時がしやすいような構造化された設定なども用意していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	整理整頓を意識し、隙間時間や活動終了後に換気や清掃を徹底しています。	引き続き整理整頓を実施し、生活空間を整えていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	子どもの様子や状況を職員間で共有し、児童に合わせて環境を作っています。	今後もより良い療育が提供できるように努めてまいります。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	事業所内で話し合う機会を設け、業務改善に向けて取り組んでいます。	今後もより良い療育が提供できるよう努めてまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	取りまとめた意見を参考に社内で話し合いを設け、改善する点や質を向上できるように業務改善に取り組んでいます。	早急な課題に対してはすぐに取り掛かり、改善に向けて内容の見直しを行います。サービス向上のために、保護者向けアンケートの実施なども考えています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	日々の申し送りや、事業所ミーティングにて意見を出し合い改善につなげています。	今後も職員の意見交換の場を設け、業務改善につなげていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	定期的に外部評価を受け業務改善に繋げています。	評価結果を職員間で話し合い業務改善に努めてまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	2か月に一度(年に6回程度)、外部講師や内部研修などを実施しています。	今後も勉強会や研修機会を設け、職員の質の向上に努めていきます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	個別支援計画の目標に基づいたプログラムを作成し、公表を行っています。	引き続き支援プログラムの作成、公表に努めてまいります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	お子様の情報に加え、各評価・検査を基に話し合いをして計画を立てています。	お子様の情報に加え、各評価・検査を基に話し合い、計画を立てて取り組んでいきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	支援の方向性や方法など職員間で話し合う場を設けて検討を行っています。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めてまいります。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	保護者様からお伺いした情報を元に、評価と合わせてご要望に沿える支援ができるよう努めてまいります。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めてまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	自社内の評価項目を選定し、運動(協調性)・学習・言語理解などへの検査を実施しています。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めてまいります。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	支援計画の内容に基づいて療育を実施できるように心がけるとともに、わかりやすく丁寧な説明が行っているよう継続して実施していきます。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めてまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	室内での活動を検討するチームを構成し、季節や時期に応じた内容を提供できるように心がけています。	引き続き職員間で情報共有を行い、楽しく学べる療育ができるよう努めてまいります。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	チーム内で日々検討しています。	お子様が毎回楽しく参加できるように職員間で日々検討・工夫し、支援目的とプログラムにズレがないよう取り組んでいます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別活動と集団活動がうまく組み合わせるように療育を展開しています。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めてまいります。	

適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	午前中と終業後に振り返りや翌日の活動の動きと役割分担を確認しています。	お子様の情報を共有し、職員間でフォローし合い万全の態勢で対応できるよう取り組んでいきます。 今後より良い療育をご提供できるよう努めてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	保護者様や園で伺った情報はすぐに共有し、支援の内容に反映できるように心がけています。	共有漏れがないよう職員同士声を掛け合うようにします。 今後より良い療育をご提供できるよう努めてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	データとして保存し、日々活用しています。	スタッフ全員がよりよい支援を提供できるよう話し合う機会を設け、支援の検証・改善につなげています。
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	モニタリングのスケジュール調整など相談員と連携・協力できています。	モニタリング時に情報提供できるよう日々の記録から内容や目標設定の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのごどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	モニタリング前に各担当者と話し合いの場を設けて情報共有しています。	今後管理者以外も参加の機会を増やし人材育成に努めてまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	各関係機関と連携して支援が行えるように、日々情報収集と情報共有を行っています。	必要に応じ体制を整えるなど、各方面の関係機関と連携できるように配慮していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	要請のある各園に出向き、児童の情報共有や連携体制の取り方を話し合い、児童にとってより良い環境や支援体制が得られるよう努めています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご質問下さい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	要請のある各園に出向き、児童の情報共有や連携体制の取り方を話し合い、児童にとってより良い環境や支援体制が得られるよう努めています。	ご質問やご相談のある場合は当事業所にご質問下さい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0	三重県立子ども心身発達医療センターと連携し、研修会へ参加をしています。今後も連携を深め、プロフェッショナルとして支援を提供できる人材の育成に努めます。	今後より一層連携を深めていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のごどもと活動する機会があるか。	5	0	地域圏への発達支援・児童状況を把握する観点から「療育巡回」という巡回業務を実施しており、地域への参加機会があります。	今後は、巡回地域の拡大を目指していきます。
	33	日頃からごどもの状況を保護者と伝え合い、ごどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	直接話せない保護者様には連絡ノートを活用し療育内容や成長ポイント、自宅でのトレーニングの提案を行っています。また保護者さまからのご相談やお悩みもノートで受け付けております。	お会いできる時間に悩みごとについての聴取を行っております。また、連絡ノートやLINE等でわかりやすく丁寧な説明を継続して実施していきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	YouTube配信での保護者向け勉強会を定期的に開催しております。子ひとりひとりの特性を鑑みて、悩みに対する対応策などを提示しております。	面談の機会を設けたり、連絡ノートにてわかりやすく丁寧な説明を継続して実施していきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	利用開始時に説明の徹底をしています。	利用途中でも質問がありましたらお問合せ下さい。 今後保護者様により分かりやすいご説明ができるよう努めてまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、ごどもや保護者の意思の尊重、ごどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、ごどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	定期的に保護者様とお話する機会を設けています。直接お話しすることが難しい場合はノートやLINEを活用し意向確認を行っています。	今後より良い療育をご提供できるよう努めてまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	保護者様には計画書を提示しながら支援内容の説明・確認を行い、サインを頂くことで同意を得ています。	リストを作成することで説明や確認漏れを防いでいます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	お会いできる時間に悩みごとについての聴取を行っております。また、連絡ノートやLINE等でわかりやすく丁寧な説明を心がけています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さるよう声をかけさせていただいております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	事業所で協力できることを行っています。また、保護者様、ご兄弟参加の活動を開催し、交流する機会を設けています。	今後保護者同士の交流を促す活動を増やしていけるように検討していきます。
	40	ごどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、ごどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	第三者委員会の設置やマニュアルを設け、迅速かつ適切に対応できるよう努めています。	現在たくさんのご相談や見学の申し込みを頂いており、順次受け入れさせていただいております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をごどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	行事予定や活動内容についてホームページやLINE、Instagram、Facebookにて発信しています。	月に1回お渡ししている営業日のご案内用紙に各種QRコードが印刷されております。

保護者への説明等	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	厳重に取り扱っております。	引き続き職員一人一人、意識を高め個人情報の取り扱いには細心の注意をおこなってまいります。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	同意を得た後に、連絡ノートや電話等での情報共有を行っています。	今後もお子様、保護者様とのコミュニケーションを一つ一つ大事にしてまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	海岸清掃ボランティア活動などを実施し、地域に根付いた運営を図っています。	今後も新しい企画などで地域コミュニティの1つになれるようにしていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各事業所毎に防災訓練や感染症対策など年間スケジュールを立てて実施しています。	年間スケジュールを組み、火災・震災の避難訓練を実施しています。職員研修にて各種マニュアルの認識を深めると共に想定訓練を実施しより安全に避難できるよう対策を立てていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	全員参加で火災・震災の避難訓練を夏と秋に実施しています。	年間スケジュールを組み、火災・震災への学習時間を持ち、避難訓練を実施してまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	利用時に全員に問診にて確認をしています。	保護者様との連携を深め、お子様の変化等にすぐ気づけるよう努めてまいります。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	食事を伴う活動の際は、保護者様へ確認を行い、必要に応じて医師の指示書に合わせた対応を実施しています。	食事を伴う活動の際はアレルギー確認を行い、個々に合わせた対応をしていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	スケジュールを組み、災害関連の避難訓練を実施しています。	今後も必要な研修や訓練が実施できるよう計画を作成してまいります。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	避難訓練や交通安全指導等の実施内容については、お知らせに記載したり、SNSやHPにて情報を発信しています。	今後ご家族等へ周知できるように努めてまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	組織内・全体ミーティングにおいて月に1回報告の機会を設けています。	事業所間でのヒヤリハット報告や想定ヒヤリハット等事例検証を行い、防げる事故は事前に対処できるよう努めてまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止委員会を設置しています。 定期的な研修を行い啓発活動を実施しています。	定期的な研修会や周知にて職員の知識向上、意識改革を行ってまいります。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	身体拘束適正化検討委員会を設置しています。委員会スタッフによりマニュアルを作成し、全職員に周知するよう取り組んでいます。必要性がある場合、保護者様とご相談の上決定させていただきます。	止む終えず拘束対応する場合はマニュアルに準じて行動できるよう情報の共有をします。 止む終えず身体拘束の必要性がある場合は、必ず保護者様と相談の上で決定させていただきます。	

事業所名	HARVEST GAT	公表日	令和8年2月20日
------	-------------	-----	-----------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	個室空間や学習空間を分け、児童個々に応じた対応ができるようにしています。	人数が多い場合や使いたいものが重なっている時は、職員間で話し合いながら実施していきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	利用児童に対し適切な数の職員が配置されています。	お子様が安全に療育が受けられるように努めています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	8	事業所入口前に段差がありますが、段差昇降に困難のある児童がいれば必要に応じて補助を行っています。	バリアフリーに関しては、お子様の状況に合わせて対応させていただきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	毎日清掃と消毒を行い、清潔を保つようにしています。整理整頓を行い、広い空間の確保や安全面の確保に努めています。	今後もお子様が清潔な空間で療育を受けられるように努めていきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	個室空間を設け、児童個々に応じて使用できるようにしています。	使用したい人数が多い場合や使用したい時間が重なっている時はスタッフ間で話し合いながら実施していきます。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	児童の担当職員だけでなく、職員全員が参加しミーティングを行っています。児童の情報共有、療育内容の検討、目標設定の確認をしています。	今後もより良い療育を提供できるように努めています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎年実施し、結果を事業所ホームページに掲載しています。頂いた意見を職員で共有し業務改善に努めています。	更なる業務改善に向けご意見を頂く機会を増やしていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	職員全員でミーティングを行い、意見を業務改善に反映させています。	引き続き職員間で意見交換ができる機会を設けていきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0	定期的に外部評価を受け、評価結果をもとに業務改善に努めています。	引き続きスムーズな業務に繋がるように改善に努めていきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	2か月に一度(年に6回程度)、全職員での研修を実施しています。	今後も勉強会や研修機会を設け、職員の質の向上に努めていきます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	児童と保護者のニーズを確認し、全事業所で共通の評価を用い、評価をもとに計画書の作成をしております。	より分かりやすい説明ができるように努めていきます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	児童と保護者のニーズを確認し、全事業所で共通の評価を用い、評価をもとに計画書の作成をしております。	より分かりやすい説明ができるように努めていきます。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	計画書の作成は児童発達支援管理責任者と担当職員で行っています。作成にあたり職員間で情報共有し、お子様の最善の利益となるよう検討を行っています。	引き続きお子様の最善の利益となるように職員間での情報共有と支援方法の検討を行っています。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	事業所内での会議の場において職員間で共有する時間を設けております。	引き続き職員間の共有と計画に沿った支援が実施できるように努めていきます。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	全事業所で共通した評価ツールを使用し実施しております。	より分かりやすい説明ができるよう努めていきます。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	ガイドラインをもとに支援内容を選択し、設定しております。	より分かりやすい説明ができるよう努めていきます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	チームで運動、SST、ゲーム、工作などの活動プログラムを立案し実施しています。	引き続き職員間の情報共有を行いプログラムの立案に努めていきます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	交替わりで活動プログラムを変更し、児童により難易度を調整しながら様々な経験を積んでいただけるよう工夫しております。	利用日ごとに活動に変化を加えながら児童の問題点にアプローチする内容となるよう工夫しています。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	お子様の様子に合わせ活動内容の検討を行い、個別活動と集団活動を組み合わせ支援計画を作成しております。	今後もより良い療育を提供できるよう努めていきます。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	支援開始前に支援の内容や職員の役割分担について確認を行い、支援後に振り返りを行っています。	より分かりやすい説明ができるよう努めていきます。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	支援終了後に職員全体でのミーティングを行い、療育内容の振り返りや次回利用時の支援内容の検討を行っています。	今後もより良い療育を提供できるよう努めていきます。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	支援に関する日報を記載しています。支援の際の状況や内容がわかるように記載し、支援の検証、改善に利用しています。	今後もより良い療育を提供できるよう努めていきます。
	23 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	利用開始時、モニタリング月、誕生日月に計画書の見直しを行い、作成した計画書を保護者へ配布しています。	モニタリング時、見直しの必要性を説明させていただきます。
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	事業所管理者が出席しております。管理者と担当職員で児童の情報を共有しています。	今後管理者以外も参加の機会を増やし、精通した人材育成に努めていきます。
	25 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	相談支援事業所、園、役場等連携しています。必要な情報を共有し、連携した支援を行っています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	支援内容の情報を共有できるよう、児童が当事業所を利用している様子を見学していただいたり、保育所等訪問事業を実施しています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	支援内容の情報を共有できるよう、児童が当事業所を利用している様子を見学していただいたり、保育所等訪問事業を実施しています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会ごと支部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	0	三重県立子ども心身発達医療センターと連携し、研修会へ参加をしています。今後も連携を深め、プロフェッショナルとして支援を提供できる人材の育成に努めます。	今後もより一層連携を深めていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	園への巡回事業である「療育巡回」を実施しており、地域への参加機会があります。	事業所外活動を行う機会を増やしていきたいと考えています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	事業所ご利用の時間内で話し合う時間を設けております。話し合いの中で児童の状況や課題について共通認識を持ってよう努めています。直接会うことが出来ない保護者様には連絡ノートを使用し情報伝達、情報共有を行っております。	今後もより良い療育に繋げていきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	今後もより良い療育に繋げていきたいと思ひます。	今後もより良い療育に繋げていきます。
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	ご契約の際に説明をさせていただいています。また、それ以降にご不明な点、ご質問等には随時お答えしています。
36		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	日々のコミュニケーションやモニタリングを通して確認しています。	日々のコミュニケーションやモニタリングを通して確認していきます。
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	個別支援計画書を保護者様に配布させていただいています。配布する際には支援内容について説明を行い同意をいただいています。	今後も保護者様がより分かりやすいご説明ができるよう努めていきます。
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	事業所ご利用の時間内でお話を伺い、お悩みにお答えしています。直接会うことが出来ない保護者様には連絡ノートを使用しやりとりを行っています。必要に応じて別日でも話し合いの場を設け、実施することもあります。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	保護者様に対してお悩み相談、勉強会等を開催して支援を行っています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
40		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	第三者委員会の設置やマニュアルを設け、迅速かつ適切に対応できるよう努めています。	現在多くのご相談や見学の申し込みをいただいております。順次受け入れさせていただきます。
41		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	2ヶ月に1度全事業所統一でイベント案内を発行しているとともに、チラシの掲載、ホームページ、SNS (Instagram、Facebook) で様々なお知らせや事業所の様子を紹介しています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
42		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	会社全体でのミーティングにて個人情報への認識を高めています。個人情報は厳重に扱うことを全職員で徹底しています。	引き続き個人情報の取り扱いには細心の注意を払ってまいります。
43		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	個人情報遵守を徹底し、事業所専用タブレットで児童の様子を撮影し本人、保護者様とお話する際に用いています。なるべく情報を可視化して伝達できるよう心がけています。	今後もお子様、保護者様とのコミュニケーションを大切にしていきます。
44		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	昨年度は毎月実施しているイベントにおいて地域住民の方々にご協力をいただき、海岸清掃を実施しました。今後も地域の方々と繋がりを持ったイベントを実施したいと考えています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	社内で各委員会を設立し、マニュアルを作成しています。研修会にて各委員会による勉強会を行い、職員全体での周知に努めています。また、防災訓練や感染症対策などの集団活動を行い、その中で発生を想定した訓練を実施しています。行った訓練の内容は保護者様へお伝えしています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
	46	業務継続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	非常災害発生時におけるマニュアルを作成し、職員間で周知するようにしています。児童が地震、火災といった災害について学ぶ機会を設け、避難訓練を定期的実施しています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	保護者様から聴取させていただくことに加え、契約時にお渡しする書類に記載していただくようにしています。記載していただいた内容は事業所職員で情報を共有し把握するようにしています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。

非常時等の対応	48	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	アレルギーに関しては保護者様からの聴取に加え、契約時にお渡しする書類に記載していただくようにしています。記載していただいた内容は事業所職員で情報を共有し把握するようにしています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	研修会にて各委員会による勉強会を行い、職員全体での周知に努めています。また、防災訓練や感染症対策といった内容の集団活動を行い、その中で発生を想定した訓練を実施しています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	行った訓練の内容は保護者様へお伝えしています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハット事例集を作成しています。実際にあったヒヤリハットや現場で想定されるヒヤリハットな状況を全職員で考え、ケガや事故の予防に努めています。	引き続き事故がないよう注意していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止委員会を設置しています。委員会でマニュアルを作成し、全職員に周知するよう取り組んでいます。	引き続き職員の技術・知識向上のため研修機会を多く設けていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	身体拘束適正化検討委員会を設置しています。委員会でマニュアルを作成し、全職員に周知するよう取り組んでいます。やむを得ず身体拘束を行う必要がある場合は、マニュアルに準じて決定いたします。身体拘束に関しては初回利用時にお渡しする「利用契約書第6条」に記載しています。	身体拘束の必要性がある場合、保護者様とご相談の上決定させていただきます。

事業所名	HARVEST BASEWORKS	公表日	令和8年2月20日
------	-------------------	-----	-----------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	注意関心が強い児童の児童もいるため、なるべく物品が目に入らないように糊にしまったり、目隠しをつけています。	引き続き、利用定員とスペースを考慮していきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	施設基準に合わせた職員の配置をしています。専門職を多く配置しております。	お子様が安全に療育が受けられるように努めていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	玄関は自動ドアで屋内からはスイッチを押さないと出られない、トイレは手すり設置、スリッパの置き場所、危険な遊具は手に届かない範囲に設置など子どもに分かりやすく、安全なように工夫させて頂いています。	今後もお子様の状態や状況に合わせて配慮していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	毎日清掃、除菌、換気を行い、清潔を保つよう努めています。	引き続き清潔を保つよう努めていきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	いつでも使用できるように事前にミーティングで話し合いを行っています	引き続き、利用児童に適した環境整備に努めていきます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	職員間で情報共有を行い、業務改善に取り組んでいます。	引き続き、職員間でPDCAサイクルを意識していきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	配布させていただきましたアンケートを元に職員間で共有し業務改善に繋がるように工夫しています。	頂きましたご意見を参考に業務改善に努めてまいります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	午前・午後と定期的に職員全員でミーティングを行い、意見を把握する場を設けて業務改善に努めています。	個々の職員が意見を出しやすい。い環境作り、新しい事への挑戦を進めていきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0	過去、第三者による外部評価をいただいたことがありません。	今後第三者による外部評価を検討していきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	2か月に一度、全事業所で集まり、職員研修を実施しています。また、さまざまな研修動画を活用し常時学習できる環境があります。	引き続き、職員の質向上、新しい見識の導入などを進めていきます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	お子様と保護者様のお悩みやニーズに沿ってプログラムを作成し、公表させていただいています	引き続き支援プログラムを作成、公表していきます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	お子様や保護者様のお悩みやニーズをお聞きし、計画書を作成しています。	引き続き、個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、児童発達支援計画書の作成に努めていきます。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	単独で個別支援計画書を作成するのではなく、日々の話し合いを下に作成しております。	引き続き、職員の共通理解の下で子どもの最善の利益を考慮していきます。
	14 児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	事業所会議の際に職員間で共有し、計画に沿った支援ができるよう努めています。	計画に沿った支援を引き続き行っていきます。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	全事業所で共通した評価ツールを使用しています。	個々の職員で差異が生まれないよう、職員間の質の確保と標準化されたツールを使用し、一定の評価を進めていきます。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	ガイドラインに沿って支援計画書を作成し、療育を行っています。	引き続き、ガイドラインに沿った支援計画書の作成に努めてまいります。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	運動、工作、SSTと活動プログラムを立案し実施しています。	月ごとにチームを再編し、新しい遊びを考慮しております。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	集団活動においては過替わりで活動の内容を変え、お子様が楽しみながら参加ができるように工夫しています。	月ごとにチームを再編し、新しい遊びを考慮しております。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	お子様の状態やお悩みに合わせた活動設定をしております。目標を達成するために支援プログラムを一人一人に合わせた内容で支援計画を作成し、アプローチ内容に応じて個別と集団を適宜活用しております。	子どもにとって必要な活動は何かを考慮し、選択しております。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	午前午後で支援開始前に職員全員で打ち合わせをします。支援内容や役割分担、情報共有を行っています。	引き続き、午前・午後のミーティングを実施し情報共有を進めていきます。
21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	支援中に取った評価やコメントを用いて支援終了後に打ち合わせを行っております。お子様の変化の共有や支援方法の修正・作成を行い次回以降のプログラムを再考します。	引き続き、午前・午後のミーティングを実施し情報共有を進めていきます。	
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	0	0	利用の様子を日報を通じて記録しております。別途で、各評価用紙を用いて支援の検証を行い、支援内容の改善に繋がっています。	引き続き、実施していきます。	
23 定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	0	0	利用開始月、誕生月とその半年後にモニタリングを行います。保護者様からの情報や一定期間の支援目標の結果を鑑みて、目標や支援プログラムの再構築を行っています。	引き続き、実施していきます。	

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	0	0	児童発達支援管理責任者と必要に応じて担当職員が参加しています。	引き続き、参加していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	児童発達支援管理責任者と必要に応じて担当職員が参加しています。	引き続き、参加していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	ご依頼に応じて対応できる体制を整えております。また必要に応じてこちらから関係協力をお願いし、情報共有や連携会議などをお願いすることもあります。送迎先では、担当職員とお話をさせていただけるように協力をお願いしております。	引き続き、インクルージョン推進の観点を大切にしていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	保護者様のご希望があれば就学前に就学先の小学校にて関係機関での連携会議を行います。また別途でご要望があれば園や学校に訪問をさせていただきます。	就学時の以降の際には、1年を通してご相談させて頂いております。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9	0		
	30	(自立支援)協議会なども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	0	保護者様の合意の元、実際にセンターの職員に来所していただき、一緒に課題解決に取り組んでいます。	引き続き、地域のセンターと協力していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	0	現在町の保育園や認定こども園へ介入させていただいています。	引き続き、地域の保育所や認定こども園へ介入させていただきたいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	普段より保護者様と日常の様子などを確認させて頂いております。	引き続き、保護者様との話し合いの場を設けていきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	0	現在ペアレントトレーニングは実施していませんが今後は行っていきたくと思います。	現在実施していないため今後検討していきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	見学時に一度ご説明させていただき、その後保護者様の質問にお答えさせて頂いております。	引き続き、ご利用者様がご不明な点がないように努めてまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	普段の話し合いの中で、日々のお悩みなどをお聞きし、児童発達支援計画書を作成しております。	引き続き、ご家族様と話し合いの場を設定していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	児童発達支援計画書を示しながら説明を行い、保護者様の同意を得ています。	引き続き、保護者様の同意が得られるよう努めてまいります。
保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	毎回のご利用時に保護者様と話す機会を設け助言や支援を行っています。	引き続き、実施してまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	9	現在は行っておらず、今後検討課題かと思えます。	現在実施していないため、今後の検討課題に挙げていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	保育所や学校等への訪問依頼があれば、すぐに日程調整などを行わせて頂いております。面談などのご希望があれば日を確保させて頂いております。	現在たくさんのご相談や見学の申し込みを頂いており、順次受け入れさせて頂くようにしております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	定期的にホームページやSNSの更新を行っております。	ご利用者様や利用したことがない方も分かりやすく、楽しく見れるよう発信していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	鍵付きの書庫に保管させて頂いております。	引き続き、厳重に留意していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	ご説明の際の配慮をさせて頂いております。	引き続き、努めてまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	9	昨年度は毎月実施しているイベントにおいて地域住民の方々にご協力をいただき、海岸清掃を実施しました。今後も地域の方々と繋がりを持ったイベントを実施したいと考えています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	ご家族様には、利用前にご説明させて頂いております。職員に関しては、定期的な避難時の役割などを確認しております。	引き続き、明瞭な説明を実施していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	年間を通して、非常時の避難・救出などの訓練を行っております。	引き続き、明瞭な説明を実施していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	ご利用時にお渡しする書類に記載していただくようにしています。記載していただいた内容は全職員で情報を共有しています。	引き続き、実施していきます。
非常時等の対応	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	ご契約時にお渡しする書類に記載していただくようにしています。記載していただいた内容は全職員で共有しています。	今後もこちらから食べ物を提供する予定はございません。ですが口腔訓練や屋外活動などの機会に食物に接する機会がございますので、アレルギーに関しての情報は全職員が情報を把握するようにしています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	定期的に研修や勉強会を実施し、災害時を想定した避難訓練を行いお子様の安全管理に努めていきます。	安全管理の研修は継続していきます。特性をお持ちのお子さまの避難訓練は今後重要度が増してくるかと考えています。必要に応じて外部への研修受講を検討しています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	安全管理に基づく取り組みについてはご利用の際にお話をしたり、直接お話が難しい場合はLINEにて周知をしています。	引き続き安全面に考慮し、アレルギーの把握や服薬状況、OPE歴、リスクに関しては必ず保護者様に確認を取るようにしています。

非常時等の対応	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	事業所内で起きたヒヤリハットの内容を共有し、会社全体で報告会や事例検討を月1回行っています。	ヒヤリハットは再発防止のため積極的に報告しあえる環境づくりをしていきます。また、どれくらいの状況が「ヒヤリ」と感じるかの個人差がありますので、リスクに対する考え方を全職員で話し合える機会も設けていく予定です。危険予知トレーニング(KYT)の実施も検討しており、より危険の予測ができるようなチームにしていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止委員会を設置しております。マニュアルを作成し、全職員に周知しております。	引き続き委員会による研修や外部講師による研修を行います。また、虐待に対する職員個々の認識にズレがないよう意識統一をしていけるようにします。研修に関しては年間スケジュールを決めており、定期的に学べる環境となっています。今後も虐待に対して適切な対応が取れるようにしていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	マニュアルを作成し、全職員に周知するよう取り組んでいます。身体拘束に関してはご契約時にお渡しする「利用契約書第6条」に記載しています。	身体拘束を基本的に行うことはございません。しかしやむを得ず拘束対応する場合はマニュアルに準じて全職員が行動できるようにしていきます。

事業所名	HARVEST UNITE		公表日	令和8年2月20日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	整理整頓を徹底し、常に活動スペースが広く確保できるよう心掛けております。お子さまの行動動線が分かりやすいよう、スペースを確保しています。	利用人数によっては個室、パーティションが足りない可能性があります。今後利用人数が増えでも多くのお子様クールダウンのスペースの確保、お子様が集中しやすい環境を提供できるようスペースの使用を工夫していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	利用児童1人に対して支援者が常時1人以上で対応できるような配置となっています。職員写真、名前をコルクボードにて展示しておりますのでご覧ください。職紹介もしています。	怪我や事故が起きないように引き続きお子様が安全に療育参加できる様に努めていきます。以前いただいた「職員の所持資格が分かりにくい」とのご意見を元に、職員写真と名前、所有資格を記載したボードを展示しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	生活空間に関しては段差を解消し、バリアフリー化しています。日々支援者間で児童の変化や情報伝達を行い、支援者全員が児童に合った対応ができるようにしています。	事業所内はバリアフリー化しています。玄関先の段差やトイレの手すりなど必要時に応じて対応させていただく予定です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	清潔な空間を保つため掃除、消毒を徹底しております。物品を整理整頓し、活動スペースを広く保つよう心がけております。整理整頓の徹底は児童が集中して取り組める環境、怪我をしないことにも繋がっています。	感染対策や清潔な空間を保つことに注力しています。お子様がよく触れる玩具や遊具は特に消毒をまめに実施しています。また、換気をする際はお子様が窓を乗り越えて外に出ていかないよう仕切りを付けるような対応が必要と考えています。使用した遊具や物品は速やかに片付けを行い、活動スペースが広く、清潔で心地よく過ごせる空間になるようにしています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	お子さまの特性や様子に合わせて、個室やボールプール、遊具などを用いて安心できるスペースを作るようにしています。	お子さまが安心して、気持ちが落ちつかない時には落ち着ける場所として個室を使用できるようにしています。また、個室の中にもよりプライベートなスペースを作り安心できるような道具を準備しています。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	担当児童に対してメイン、サブ担当を決めています。また、専門職の多さを活かし、担当以外の職員もお子さまに対して包括的支援を行える体制を整えています。事業所全体でPDCAサイクルを意識して業務改善に取り組んでいます。	PDCAサイクルを意識して業務にあたってはありますが、個々の理解度合いや職種によって解釈がばらつきやすいです。Plan(計画)を立案し、Do(実行)できるようにしてきましたが、checkの部分で個人差がありますので、しっかり目標の再設定や振り返りができるよう職員間で情報共有する時間を、昼と夕方の1日2回設けるようにしています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	保護者様からいただいたご意見はその都度確認し、業務改善できるよう職員全員で話し合いを行っています。	更なる業務改善に向け保護者様からアンケートを中心にご意見をいただく機会を設けていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	職員の意見を把握するにあたり、お子さまの担当職員から児童の様子や目標等の詳細内容を確認しています。また、今後の展望・目標等を話し合い、業務改善につながるよう職員全員で情報の共有を行っています。	お子さまの担当職員だけでなく、専門的で包括的な支援が行えるよう全職員で意見共有する時間を設けていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0	外部評価は現在行っておりません。毎年保護者様や従業員から挙がる意見をもとに業務改善に取り組んでいます。	引き続き保護者様、従業員から挙がった意見をもとに業務改善を目指します。必要に応じて第三者による外部評価についても検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	事業所内だけでなく、会社全体で支援の質・知識・スキルアップを目的に2か月に1度研修会を定期的に行っています。また、年に1度外部講師を招聘し、外部から新たな知見をいただく機会も設けています。	今後も内部での研修会を中心に外部講師の招聘や研修を受講できるような体制づくりを行っていきます。また、資質の向上には生涯学習の重要性が増してくると感じています。生涯学習に対して自己研鑽ができる職員数を増やせるような体制づくりを目指します。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	保護者様への事前聞き取りやニーズに沿って計画を立案し、園や学校でお子さまの置かれる環境についても把握に努めています。お子さまが安心してのびのび過ごせるよう支援計画を立案していきます。	全事業所で統一された評価やお子様プロフィール(聞き取り聴取資料)などを用いることで全職員がお子様の状況を理解した上で接することができるようにします。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	お悩みと保護者様のニーズを適切にアセスメントし、お子様の現状と取り巻く環境を考慮し、計画を作成しています。	支援計画については事前の情報収集、計画の立案は綿密に行うことを心掛けています。また、課題については評価を基に分析し、支援内容が分かりやすいよう具体的にお伝えしていきます。支援計画書には、支援する内容に加え、提供する課題ごとの意味合いを記載するようにします。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	お子さまに最善の利益がもたらされるような支援を意識しています。お子さまごとの性格や特性を全職員が把握できるよう情報共有を行い、「そだつ権利」をのびのびと事業所で発揮できる場所づくりを意識しています。支援計画に関してはお子さまを対応する職員が中心に作成しますが、児童発達支援管理責任者だけでなく、全職員が支援計画に対して意見や新たな提案をするようにしています。	お子さまが安心して過ごせるよう、心を許せる担当職員制度を設けています。しかし、専門職の多さを活かし包括的な支援ができる体制づくりをしています。お子さまののびのびと「そだつ」ことができるよう、どの職員が対応してもお子さまの状況が把握できるようにしていきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	児童発達支援計画は職員間で共有する時間を設けています。情報共有は担当支援者だけでなく、全職員が情報を把握できるようにしており、計画に沿った支援の実践が行いやすい体制づくりをしています。	引き続き支援計画を職員間に共有することを徹底していきます。事業所職員間で情報を提供する際は具体的なかつ分かりやすいような共有・話し合いが必要であると考えます。支援計画や目標を基に全職員が理解しやすいような情報共有を行っていきます。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	会社内で共通の評価を用いています。評価については再現性を担保できるよう職員研修にて全員が評価を実施できるようにしています。 定期的なアセスメント資料を用いていますが、保護者様とは利用時に毎回お話しする時間を設けていますので、都度お子さまの行動の状況については共有できるようにしています。	標準化された評価を使用していますが、検査者によっては評価の解釈が違う可能性があります。 評価結果をもとに、解釈の仕方や事例をもとに評価の理解が各職員根付くように研修を行っています。 引き続き、使用している評価については全職員が共通の理解を深め、アセスメントできるようにしていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	ガイドラインに沿って支援内容を設定しております。 「家族支援」につきましては各児童に応じて保護者様のニーズや目標に沿った支援を行い、目標を達成するまでの過程を大事にしています。療育後は毎回保護者様とお話しする時間を設けております。 「地域支援」としましては自立支援協議会への参加、保育所等訪問事業を実施しております。	ガイドラインに沿って分かりやすい説明ができるよう努めます。また、支援内容具体的に目標や支援の狙いもお伝えするようにしていきます。保育所等訪問事業の詳細を皆様にご存知いただく機会を設け、より地域との繋がりを広げていけるようにしていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	専門職の多さを活かし、チームで活動プログラムの立案を行っています。(運動課題、工作、ゲーム、SST等) 活動プログラムは集団活動と個別活動に分けており、お子さまの様子に合わせたオーダーメイド性を大切にしています。	お子さまの成長・発達に合わせた遊びを提供します。「楽しみ」の中でいかに、支援の目的を組み込むか。というところを職員全員で工夫しながらプログラムを立案していきます。また、実施した活動の目的や狙いは保護者様にも情報を共有させていただきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	療法士、保育士の特色を活かし、チームで活動を立案しています。(運動課題、工作、ゲーム、SST等)活動内容は毎回変更しており、児童に合わせて難易度やルールを調整しています。	保護者からの情報収集や療育ごとにお話しした内容からお子さまの状況を整理していきます。その中で見えてきた課題に対して随時活動内容を変更していきます。お子様が楽しみながら成長・発達していけるよう活動内容を工夫し、お子さまの様子に合ったオーダーメイドの支援を行っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	お子さまの状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせて支援を実施しています。個別では実施できても集団活動では活動に入りにくいお子さまもいます。個別の時間と集団の時間を上手に使い分けてお子さまの状況を把握することも支援の一環としています。	基本的に当事業所は個別活動、集団活動どちらも実施しています。 お子様の状況は適宜確認しており、様子に合わせて支援内容や難易度の調整等を行っています。
適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	支援開始前・支援後には職員間で打ち合わせと振り返りを行っています。 また支援の内容や役割分担についても設定しており、チームでの連携と包括的な支援を意識しています。	各職種の専門性を活かすにあたっては、役割を分けすぎのではなく職員全員が専門性の強みを把握する必要があると考えています。 そのため、各職種にどんな強みがあって、どんな役割を担えるか。は話し合いや研修会で理解を深めていけるようにします。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	支援後には職員間でその日の支援について振り返りを行っています。 児童の自宅や学校での様子の変化、今後の目標や方向性等を全員で共有しています	引き続き支援後には事業所の職員間で情報共有を行います。 情報共有をする際には、全員が発言する機会を設け職員自身が情報の整理をできるようスキルアップを目指します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	支援を実施した際には必ず記録を残しています。また、その記録をもとに今後の支援内容を検証し、新たな目標に向かって支援や状況の改善につなげていけるようにしています。	引き続き、支援を実施した際には必ず記録を残していきます。また、その記録に関しては誰が目を通して状況が分かるよう「具体的」で支援の優先順位や目的が把握しやすいような記載方法を心掛けます。
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	個々のお悩みによって訪問の頻度や時期は異なります。支援の実施時期や療育利用時の様子を鑑み、訪問支援の必要性や適切なタイミングで見直しが行えるようにしています。	お子さまのお悩みや状況によって、訪問の頻度や時期が異なります。そのため、支援計画を見直すタイミングに差が出る可能性があります。 都度の見直しも重要ですが、ある程度定期での支援計画の見直しをする必要性も感じています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	当社の代表、もしくは児童発達支援管理責任者が担当者会議や関係機関との会議に参加しています。 また、事前に事業所内でのこどもの様子やお悩み事などの情報を整理し、理解したうえで参加をさせていただいています。	引き続きお子さまの情報については全職員が把握します。 その中でも児童の様子をよく把握している児童発達支援管理責任者、もしくは担当者が会議に参加できるようにしていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	関係機関と連携して支援を行う体制を整えています。 お子さま、保護者様のお悩みと向き合い、連携することでお悩みを解決していけるようにしています。	引き続き関係機関と連携して支援を行う体制を継続します。 連携する機関を増やし、情報を共有できる場を設けることで、よりお子さまを包括的に支援できる体制づくりを目指します。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	依頼があれば対応できる体制にしています。 利用児童と同性の職員が対応に当たるようにしています。保護者様を通して園や学校との情報共有を行い支援を実施しています。	「保育所等訪問」という事業を展開しています。今後保護者の皆様にご存知いただく機会を設けていきたいと考えています。 連携した支援についてご不明な点がございましたら気軽にスタッフまでお尋ねください。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	今年からは一部地域ではございますが、就学前から就学する際の支援や先の見通しを持った情報共有の場に参加させていただきます。 相互理解をはかれるようお子さまの様子を整理し、理解したうえで支援内容の共有を行います。	個別にて就学移行時の情報共有を行っていましたが、今年から一部地域では学校自体に関わりを持たせていただきます。 より、専門的に必要な情報を提供できるように準備をしていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9	0		
関係機関	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	9	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受ける機会を設けているか。	9	0	実際にスーパーバイザー、バイザーと連携を図りながらお子さまを支援しているケースもございます。関係性は良好です。	引き続きスーパーバイザー、バイザーと連携を図りながらお子さまの支援に取り組んでいきます。

関 や 保 護 者 と の 連 携	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	0	地域圏への発達支援・児童状況を把握する観点から「療育巡回」という巡回業務を実施しており、地域への参加機会は定期的にあります。	今後は巡回地域の拡大を目指していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	利用時間内で、必ず保護者様と話し合う時間を設けております。 話し合いの中では生活リズムや日常生活場面のこと、受診、服薬状況などをお聞かせいただくこともあります。お子さまの状況や課題について共通理解できるよう努めております。	引き続き保護者様とお話をする時間は必ず確保します。その都度お子さまの状況や課題等話し合い改善に向けて一緒に解決策を見いだしていけるようにします。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	現在療育現場では児童個別の対応をしておりますが、保護者様のお悩みに応じて実施します。 また、情報提供に関しては年長児の保護者様に対して就学に向けた取り組み動画の配信、就学児にはランドセル内の整理やなわとびと上達に向けた動画配信しております。	引き続き動画の配信や個別での対応を中心に行っていく予定です。 ご家族様で参加いただけるような場所づくりについては今後検討させていただき予定です。
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	ご契約の際に説明をさせていただきます。また、利用者負担に関しては、初回の請求書をお渡しする際に再度説明を行っております。それ以降にご不明な点、ご質問等があれば随時対応させていただきます。	ご契約時に詳しく説明を行っていますが、利用者負担に関しては都度ご請求が発生する事前にお伝えできるようにします。また、利用中に不明な点はないか確認させていただき都度対応させていただきますようにします。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	お子さまに最善の利益がもたらされるような支援を意識しています。 お子さまごとの性格や特性を全職員が把握できるよう情報共有を行い、「そだつ権利」をのびのびと事業所で発揮できる場所づくりを意識しています。 支援計画に関してはお子さまを対応する職員が中心に作成しますが、児童発達支援管理責任者だけでなく、全職員が支援計画に対して意見や新たな提案をするようにしています。	お子さまが安心して過ごせるよう、心を許せる担当職員制度を設けています。 しかし、専門職の多さを活かした包括的な支援ができる体制づくりをしています。お子さまののびのびと「そだつ」ことができるよう、どの職員が対応してもお子さまの状況が把握できるようにしていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	児童発達支援に関しては必ず保護者様の同意を得ています。 また、支援の実施に際してはお悩みや目標、保護者様との情報をすり合わせております。 すり合わせた情報と実際の状況、今後の目標等を計画とし、支援の説明を行うようにしています。	現在は支援実施前後の時間で保護者様とお話をする時間を設けています。 今後も保護者様とお話をする中で支援計画の同意を得つつ、お悩み事の解消や支援内容を共有していきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	事業所ご利用の時間内でお話を伺い、お悩みに対する助言ができるようにしていきます。また、必要に応じて別日でも話し合いの場を設けることもございます。	専門的な支援の実践を掲げており、様々な職種を有した支援者が必要に応じて助言や支援に介入させていただきます。 お子さまの状況は事業所全職員が把握できるようにしています。包括的な支援や助言ができるようにしておりますので、気軽にお声がけください。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0	保護者同士の交流は現在行っておりません。しかし、屋外活動のイベントを通して保護者同士がお会いする場を設けてはおります。	保護者会に関しては様々なご意見をいただいております。ご要望に応じて、交流の場づくりを検討していきたいと考えます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	療育前・後の時間に必ず支援者と保護者様で話し合う機会を設けており、その時間で相談対応をさせていただいております。 苦情対応の窓口やマニュアルを設け、迅速かつ適切に対応できるよう努めています。	引き続き、事業所のご利用時に相談を承ります。その場での解決を目指しつつ、当事業所全員で話し合い、様々な知見から対応できるようにしていきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	自己評価アンケートの結果はホームページに掲載しており、いつでも閲覧いただけます。 2か月に1度、全事業所統一でイベントを開催しており、月の半ば頃に案内を発行しています。また、SNS(ホームページ、Instagram、Facebook)で会社の取り組み、活動の様子等を紹介しています。	日々の活動やイベントの様子報告だけでなくとどまらず、自宅で取り組んでもらえるような療育的な情報発信も進めていく予定です。 保護者様のご希望に沿った情報が適切に得られるようにしていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	会社全体の会議にて個人情報の認識を高めており、個人情報は全職員が厳重に取り扱うことを徹底しています。	引き続き個人情報の取扱いにつきましては厳重に取り扱ってまいります。 会社全体の会議にて個人情報の取扱いについては研修を行い、個々の認識がズレないよう理解を深めていけるようにします。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	ご利用時には必ず支援者と保護者様で話し合う機会を設けております。その際、個人情報には十分配慮したうえで事業所での取り組みを事業所携帯で撮影し、ご確認いただいております。ご確認いただいた後に削除させていただきます。 また連絡の際には、LINEを使用しております。保護者様の使用しやすい手段で連絡をいただけるようにしております。	引き続き保護者様、お子様に分かりやすく情報を伝達できる方法を模索していきます。 なるべく可視化して情報を確認しやすい工夫を行います。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	現在、行事に地域の方の招待は行っていません。しかし事業所でのイベントとして海岸清掃を実施した際には、地元のご協力を得てごみ処理を行っています。	昨年に引き続き海岸清掃や新たなイベントを企画し、地域住民の皆様も気軽に参加、交流する機会を設けていきたいです。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	マニュアルを作成し、周知できるようにしてあります。 また、社内で運営TEAMを設立しています。災害対策チームを設置しており、災害や感染症等については、2か月に1回ほど事業所内の集団活動を通して児童にも避難訓練や手洗いの重要性を学ぶ機会を設けております。 保護者の皆様におかれましては、ご利用契約時に避難時の連絡手段、避難先を記載した「エマージェンシーカード」について説明したうえで、お渡ししています。	引き続き、緊急時を想定した訓練を行います。また、訓練を行う際には「避難訓練強化週間」というように職員、保護者様、お子さまが意識して行動できるような掲示物を配置する予定です。訓練後は訓練の様子をSNSや配布するお知らせ資料に記載させていただき、訓練実施の周知を行います。	

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	業務継続計画は策定しております。非常災害の計画を立て、年に2回は避難訓練を実施しています。その他には感染症対策として手洗い方法の確認や交通安全について学びと実践訓練に取り組んでいます。非常災害時に職員がどう動けばよいかもマニュアルを作成しております。	年間計画を立て計画的に実施していけるよう準備し、訓練を実施します。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	保護者様から聴取させていただくことに加え、契約時にお渡しする書類に記載していただくようにしております。記載していただいた内容は、毎年更新を行い事業所職員で情報を共有し、把握するようにしています。	お子様を送迎していただいた際、毎回体調に変化が無いか確認することを徹底しています。お子様が少しでも様子が違う、と気づけるよう本人の様子観察も全職員で徹底します。お子様の状況に関しては事前に保護者様に記載していただく書類を確認し対応できるようにしておきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	基本的に事業所内で食べ物を提供する事はございません。屋外での活動で提供することがある場合は、アレルギーに関しては事前に保護者様からの聴取に加え、契約時にお渡しする書類にも記載していただくようにしており、事業所職員で情報を共有し把握するようにしています。	今後もこちらから食べ物を提供する予定はございません。ですが口腔訓練や屋外活動などの機会に食物に接する機会がございますので、アレルギーに関しての情報は全職員が情報把握するようにしています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	安全管理に関しては定期的に職員研修を行っています。また、緊急時対応のマニュアルを作成しており、怪我や事故が発生した場合は速やかに連絡と対応をまいります。その際にスムーズに対応ができる様に、利用開始時にかかりつけの病院等の情報をいただいています。	安全管理の研修は継続していきます。特性をお持ちのお子さまの避難訓練は今後重要度が増してくると思っています。必要に応じて外部への研修受講を検討しています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	安全面に考慮し、アレルギーの把握や服薬状況、OPE歴、リスクに関しては必ず保護者様に確認を取るようにしています。	引き続き安全面に考慮し、アレルギーの把握や服薬状況、OPE歴、リスクに関しては必ず保護者様に確認を取るようにしています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	9	0	ヒヤリハットは積極的に報告していただくようにしています。事例に関しては社内全体でも共有する機会を設けております。また、再発防止に向けて現場検証も行い、職員全員でリスク管理の意識を高めていけるようにしています。	ヒヤリハットは再発防止のために報告していただくものであるため、積極的に報告しあえる環境づくりをしていきます。また、どれくらいの状況が「ヒヤリ」と感じるかの個人差がありますので、リスクに対する考え方を全職員で話し合える機会も設けていく予定です。危険予知トレーニング(KYT)の実施も検討しており、より危険の予測ができるようなチームにしていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待については社内で委員会を設置しており、定期的な研修を行っています。また、今年度は外部講師を招聘し、虐待についての認識を高めるような研修も実施しました。	引き続き委員会による研修と外部講師の招聘を行います。また、虐待に対する職員個々の認識にズレがないよう意識統一をしていけるようにします。研修に関しては年間スケジュールを決めており、定期的に学べる環境となっています。今後は虐待に対して適切な対応が取れるようにしていきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	基本的に身体拘束は行うことはございません。しかし、今後そういったケースも出てくる可能性を考え、委員会にて虐待防止マニュアルは作成しております。マニュアルを元に社内研修を実施し、全職員が虐待に対する意識を高めていきます。	身体拘束を基本的に行うことはございません。しかし、やむを得ず拘束対応する場合はマニュアルに準じて全職員が行動できるようにしていきます。	

公表 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	HARVEST HOME	公表日	令和8年2月20日
------	--------------	-----	-----------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	運動スペース、集団活動スペースとフロアを分けて空間を作っています。個室も2室完備しており、個別療育に使用しております。	現在は十分なスペースを確保できていますが、必要に応じて職員間で声を掛け合いながら空間を作っていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	お子様の状態に合わせて職員の配置をしています。	お子様が安全に療育を受けられるよう職員配置を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	トイレや療育物品など視覚的にわかりやすいように提示して環境設定を行っています。事業所玄関に3段の段差があるため、必要に応じて配慮をしながら昇降しています。	今後もお子様の状態や状況に合わせて配慮していきます。段差をスロープに変更するなどを検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	毎日清掃、除菌、換気を行い、清潔を保つよう努めています。	引き続き清掃、除菌、換気を行い、お子様が心地よく過ごせる環境を作っていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	お子様の特性や療育内容にあわせて個室を使用しております。	衝立などの使用など、合理的な配慮を必要とする場合は職員間で連携を取り、状況に応じた環境設定を行っています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0	職員間で情報共有を行い、業務改善に取り組んでいます。	引き続き職員間で情報共有を行い、より良い療育ができるよう努めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	いただいたアンケートを元に職員間で共有し業務改善に繋がるように工夫しています。	ご意見をお聞きし、更なる業務改善に努めていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	定期的に職員全員でミーティングを行い、意見を把握する場を設けて業務改善に努めています。	今後も意見を把握する場を設けて業務改善へと努めていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	10	過去、第三者による外部評価をいただいたことがありません。	今後はオンライン監査や集団指導などを活用していきたいと考えています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	2か月に一度、全事業所で集まり、職員研修を実施しています。また、さまざまな研修動画を活用し常時学習できる環境があります。	今後も勉強会や研修を通して職員の質の向上に努めていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	お子様と保護者様のお悩みやニーズに沿ってプログラムを作成しています。	今後もお子様や保護者様のお悩みやニーズをお聞きし、プログラムの作成に努めていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	お子様や保護者様のお悩みやニーズをお聞きし、計画書を作成しています。	引き続きお子様や保護者様のお悩みやニーズをお聞きし、計画書の作成に努めていきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	お子様の情報を元に担当の職員、児童発達支援管理責任者と話し合いながら作成しています。	今後もお子様の最善の利益を考慮し、担当の職員、児童発達支援管理責任者と話し合いながらお子様に合わせた支援計画書を作成していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	事業所会議の際に職員間で共有し、計画に沿った支援ができるよう努めています。	引き続き職員間で共有し、計画に沿った支援ができるよう努めていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	全事業所で共通した評価ツールを使用しています。	引き続き全事業所で共通した評価ツールを使用し、わかりやすく説明できるよう努めていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	ガイドラインに沿って支援計画書を作成し、療育を行っています。	今後もより良い療育をご提供できるように努めていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	運動、工作、SSTと活動プログラムを立案し実施しています。	引き続きチームで協力し活動プログラムを立案をしていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	集団活動においては過替わりで活動の内容を変え、お子様が楽しみながら参加ができるように工夫しています。	今後も楽しく参加が出来るように工夫していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	お子様の状態やお悩みに合わせた活動設定をしています。目標を達成するために支援プログラムを一人一人に合わせた内容で支援計画を作成し、アプローチ内容に応じて個別と集団を適宜活用しております。	今後もお子様の様子に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせる支援を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	午前午後で支援開始前に職員全員で打ち合わせをします。支援内容や役割分担、情報共有を行っています。	今後もより良い療育をご提供できるように努めていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	支援中に取った評価やコメントを用いて支援終了後に打ち合わせを行っています。お子様の変化の共有や支援方法の修正・作成を行い次回以降のプログラムを再考します。	引き続き支援終了後に打ち合わせを行い、情報共有を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	利用の様子を日報を通じて記録しております。別途で、各評価用紙を用いて支援の検証を行い、支援内容の改善に繋がっています。	今後もより良い療育をご提供できるように努めていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	利用開始月、誕生日とその半年後にモニタリングを行います。保護者様からの情報や一定期間の支援目標の結果を鑑み、目標や支援プログラムの再構築を行っています。	引き続き定期的にモニタリングを行い、必要に応じて見直しを行っています。

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのごどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	児童発達支援管理責任者と必要に応じて担当職員が参加しています。	今後は管理者以外の職員も参加の機会を作り、人材育成に努めていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	お悩みを解決するため必要に応じて各関係機関と連携し情報共有や支援体制を整えております。	今後も包括的な支援が取れるように、体制を整えていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	ご依頼に応じて対応できる体制を整えております。また必要に応じてこちらから関係協力をお願いし、情報共有や連携会議などをお願いすることもあります。送迎先では、担当職員とお話をさせていただけるように協力をお願いしております。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡ください。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	保護者様のご希望があれば就学前に就学先の小学校にて関係機関での連携会議を行います。また別途ご要望があれば園や学校に訪問をさせていただきます。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡ください。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	10	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	10	0		
	30	(自立支援)協議会なども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	10	現在はセンターなどの中核機関にスーパーバイズ等をしていただくような連携は取れておりません。	ご助言をいただけるような機会が設けられるよう、連携機関として関係を深めていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のごどもと活動する機会があるか。	0	10	まだ地域の活動などに参加できていません。	今後は積極的に参加できるような機会を設けていきます。
	33	日頃からごどもの状況を保護者と伝え合い、ごどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	日々の療育の中でお話をする機会を設けており、直接お話しが難しい場合はLINEを活用しお子様の状況、課題について共通理解ができるように努めています。	今後もお子様の状況や課題について共通理解が持てるように努めていきます。
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0	就学相談のための動画閲覧や書類配布を行っています。	講義形式の研修はコロナ以降開催できていないため、今後はそのような機会を作っていきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	ご契約時にご説明をさせていただいています。それ以降はご不明な点、ご質問があれば随時お答えさせていただきます。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡ください。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、ごどもや保護者の意思の尊重、ごどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、ごどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	定期的に保護者様とお話をする機会を設けています。直接お話をすることが難しい場合はLINEを活用し意向を確認しています。	引き続き意向を確認できる機会を設けていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0	支援計画を保護者様へ配布し、同意を得ています。	引き続き支援計画を配布させていただきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	ご利用時にお話をする機会を設けています。直接お話しが難しい場合はLINEでのやり取りを行っています。保護者様のご要望があれば必要に応じて話し合いの場を設けることもあります。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡ください。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	10	現在は実施しておりません。	今後は保護者同士で交流ができる機会を作りたいと思います。
	40	ごどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、ごどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	常時ご相談などを受け付けております。お話しだけでは解決しにくい場合は保育所や学校などとも連携してお子様のお悩みに対して包括的に支援をさせていただきます。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡ください。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をごどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	ホームページやLINE、Instagram、Facebookにて行事予定や活動内容等を発信しています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡ください。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	個人情報は厳重に取り扱うように全職員で徹底しています。必要なものは鍵付きの棚へ、廃棄するものはすべてシュレッダーで処理を行います。	引き続き個人情報の扱いには細心の注意を払っていきます。
	43	障害のあるごどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	事業所専用タブレットでお子様の様子を撮影し、保護者様とお話する際に用いています。情報を可視化して伝えるように心がけています。	今後もお子様、保護者様とのコミュニケーションを大事にしています。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	10	現在、行事や地域の招待は行っておりません。	今後は地域の方々と触れ合える機会を設けていきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	防災マニュアルを作成し、周知できるように努めています。地震や火災を想定した避難訓練を実施しています。	今後もお子様と一緒に避難訓練を実施していき、マニュアルについて周知していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	BCPを策定しており、有事の際にする行動や役割など設定しております。訓練に関しましては、年2回以上の地震や火災を想定した避難訓練を実施しています。	今後もお子様と一緒に避難訓練を実施し、非常事態の発生に備えています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のごどもの状況を確認しているか。	10	0	ご利用時にお渡しする書類に記載していただくようにしています。記載していただいた内容は全職員で情報を共有しています。	今後も全職員で情報を共有し、お子様の変化に気がつけるよう努めていきます。
	48	食物アレルギーのあるごどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	ご契約時にお渡しする書類に記載していただくようにしています。記載していただいた内容は全職員で情報を共有しています。	今後も全職員で情報を共有し、お子様の辺に気がつけるよう努めていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	定期的に研修や勉強会を実施し、災害時を想定した避難訓練を行いお子様の安全管理に努めていきます。	今後もお子様と一緒に避難訓練を行い、安全管理に努めていきます。

非常時等の対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	安全管理に基づく取り組みについてはご利用の際にお話をしたり、直接お話が難しい場合はLINEにて周知をしています。	今後ご家庭へ周知できるよう努めていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	事業所内で起きたヒヤリハットの内容を共有し、会社全体で報告会や事例検討を月1回行っています。	今後も事業所内で起きたヒヤリハットの事例検討を行い、事故防止に努めていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	虐待防止委員会を設置しております。マニュアルを作成し、全職員に周知しております。	引き続き職員の技術、知識向上のため研修の機会を多く設けていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0	マニュアルを作成し、全職員に周知するよう取り組んでいます。身体拘束に関してはご契約時にお渡しする「利用契約書第6条」に記載しています。	身体拘束の必要性がある場合は、保護者様とご相談の上決定させていただきます。